

当院の心臓カテーテル室業務における教育体制

喜田 佳介¹、染川 宜輝¹、牧野 克也¹、尾崎 美保¹、堂脇 茉心¹、西田 亜衣¹、高岡 順一郎²、加治屋 崇²、竹井 達郎²、北園 恵理³

¹天陽会中央病院、²天陽会中央病院、³天陽会中央病院

【背景】 医師の働き方改革に伴うタスク・シフトにおいてカテーテル室における臨床工学技士に求められる役割は年々専門的になっている。当院では2025年度より臨床工学技士のPCIにおける清潔野業務を開始した。一方で教育が思い通りに進んでおらず、教育の渋滞が起きている現状である。

【現状】 当院では100項目のチェックリストを用いて教育を行っており、チェックリストは項目ごとにSTEP1から4まで構成されている。チェックリストは95/100点で教育修了となり、被教育者と教育者にて評価に差が出る事もある為、差が生じた際には必ずコメントで評価の理由まで残している。

IVUS操作者の育成については当院独自にIVUSレポートを用いており、IVUSに関連する教育はITE取得者にて行っている。

【課題】 現状として、IVUS操作まで教育修了している者が少なく、医師と合同でイメージングの症例検討会を行う事で個々のレベルアップを目指している。

また、カテーテル室に勤務するスタッフでシミュレーションも定期的に行っている。